



明治二十三年、陸海軍大演習の砌、四月一日午前四時半、有栖川宮、小松宮を始め文部百官を従えさせられ、名古屋より特別列車にて刈谷駅に御下車。それより御乗馬にて知立町明治用水事務所に小休の後、牛田方面に行幸、来迎寺御嶽神社境内に馬を立たせ給い、戦況を観覧し給う。これが記念の為め、事務所に「明治天皇躰址」の円柱銅碑を建設し、聖恩を永遠に偲び奉る。

同日、来迎寺小学校東南猿渡川橋西の地に於て、陛下には親しく御観戦あらせられ、演習中止後同校に福幸御昼餐を召させ給う。

当日御使用の茶碗二個、同校に保存し、その建物の跡に「錦旗千載駐餘光」の碑を建て御聖徳を慕ひ奉る。

「知立町史」より

：正午休戦トナル 此二於テ統監御昼飯ノ為メ畏クモ来迎寺小学校ニ臨幸シ給フ 予期セザリシコトトテ学校モ休業閉鎖シアリケレバ 二三ノ工兵来リテ校舍東南隅ノ壁窓ヲ撤去シ臨時ニ御昇降口ヲ設ケ各窓ヲ開放シ奉レバ比所ニ入御シ給フ 俄ノコトトテ不潔ナル校舍モ之ヲ掃除スル暇モナク不整ナル器物モ之ヲ更ムルノ隙モナク御机ハ教卓ヲ御椅子ハ教員用ノモノヲ 御土瓶御茶碗ハ兒童用ノ物ニテ侍従者ト共ニ洪茶ヲ御喫シテ御昼飯ヲ済マサセ給ヒシコソ恐懼ノ極ニコソ：

：校長伊吹武市ニハ破格ノ拜謁仰付ケラレ且御下賜金アリ 伺ニ聖恩ノ洪大ナルニ感激シ校長及村長等歡喜號泣セザルハナカリキ午後二時再ヒ開戦平針道方面ニ向ハセ給ヒキ後年村民相謀リ行幸記念碑ヲ建テ其聖蹟ヲ標シ御用ノ井戸ヲ玉ノ井ト称シ保存シ居レリ：

「知立史要」大正三年本校著
「来迎寺小百年のあゆみ」より